

隠岐の島町

2014年(平成26年)4月9日発行
平成26年4月号(第37号)

議会だより

元屋の世間桜

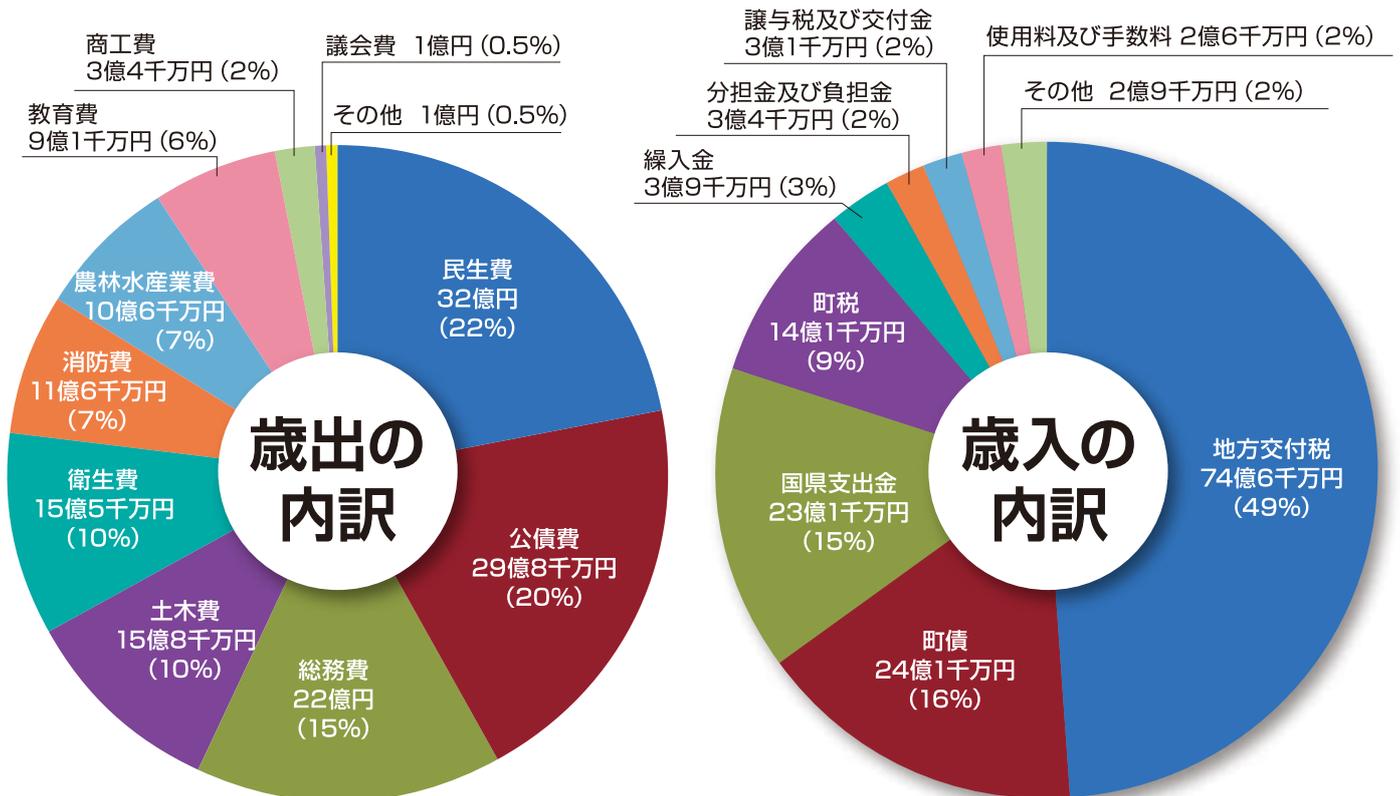
- 新年度予算・3月定例会報告・・・P 2
- 予算をチェック(質疑)・・・P 4
- 10人の議員が町政を問う(一般質問)・・・P 10
- こんな議論がされました(委員長報告)・・・P 16
- 採決の状況・・・P 18

3月定例会



3月定例議会は、3月3日から3月13日まで開催された。平成25年度一般会計及び特別会計補正予算、平成26年度一般会計及び特別会計、条例改正、工事請負変更契約、指定管理者の指定などが提案され、全て原案どおり可決された。松田町政に対しては10名の議員が一般質問を行い、議案には13名の議員が質疑を行った。

平成26年度当初予算 151億8,000万円



※詳しくは、町発行の広報紙をご確認下さい



今後の運営方針が問われる旧ホテルニューかじたに

観光宿泊施設の指定管理者に (株)共立メンテナンス

町が購入した観光宿泊施設の指定管理者が4月の臨時議会において賛成多数で(株)共立メンテナンスに決定した。

この観光宿泊施設は、平成23年9月議会に当該施設の町購入の要望書が提出されてから、平成24年3月議会には要望書に対して「趣旨採択」と決定、銀行との購入交渉も

二転三転し、12月定例会の採決においても3名の議員が反対するという経緯をたどっている。

4月には施設名称の決定、また今後はリニューアル工事が計画されるなど、新たな指定管理者と町の施設運営の方向性が問われる。



主な新年度予算

合併十周年記念事業

- ◇記念式典 150万円
文化会館で功労者表彰、作文コンクール、アトラクションなどを10月26日に開催予定。
- ◇演劇公演「日本の面影」 587万円
小泉八雲を題材とした演劇。主演は草刈正雄、紺野美沙子。6月23日〜25日の間の2日間。
- ◇山陰フィルハーモニー管弦楽団コンサート 200万円
レインボーアリーナで、フルオーケストラ(75名)による迫力のある演奏。7月5日に公演予定。
- ◇花火大会 400万円
8月中旬に西郷湾で3000発の花火を打ち上げる予定。
- ◇隠岐の島ウルトラマラソン 600万円
第9回隠岐の島ウルトラマラソンは、回を重ねるごとに大会の人氣も高まり、今回の申し込みも早期に締め切られた。
- ◇隠岐の島町いきいき祭り 80万円
毎年10月に開催され、健康増進イベントと沢山の屋台が出店され、沢山の人が賑わっている。今年も隠岐島文化会館で開催。
- ◇野外音楽フェスティバル 3000万円
9月27日・28日の両日、都万地区のあいランドパーク周辺にて開催予定。音楽のほか、出店やアトラクション、各種体験イベントなど企画中。

新しい事業

- ◇にぎわい啓蒙券の発行 2240万円
町内での消費購買力を喚起し、地域経済の活性化を促進するための事業。発行総額は2億2000万円。秋以降に発行予定。
- ◇隠岐びとの養成 400万円
交流関係のある豪州マツキロップ校から生徒・引率者合計12名を招き、小中高校生との交流会を行う。マツキロップ校の生徒はホームステイで滞在。
- ◇立志式開催 26万円
例年、布施地区で行われていた立志式を全町的に開催する費用。
立志式は奈良時代以降に行われていた元服にあたる行事で、布施地区では昭和50年から現在まで続けられている。



遊覧船発着場は福浦港に一本化する

- ◇町有宿泊施設を改修 5485万円
ホテル海音里の空調改修やトイレ改修など8施設の整備を行い、観光客の受け入れ体制を改善する。
- ◇ローソク島遊覧船待合所の整備 965万円
福浦港に木造平屋建一棟の待合室を整備。観光遊覧船の発着港一本化に向けた協議も併せて行う。
- ◇町内空き家対策 2039万円
Uイーターン者への空き家の貸付、空き店舗利用の起業家への家賃補助、危険家屋や空き家除去のための事業費など。
- ◇交通弱者対策 121万円
利用料金据え置きのための消費税増税分経費の支援、新ダイヤ検討のための試験運行、運転免許を返納した高齢者へのバス回数券購入の助成を行うための費用。

その他の事業

◇戦略産品海上輸送の支援 1064万円
本町を代表する産品の海上輸送に係る費用の一部を支援する事業。販路拡大と生産者の所得向上を図る。



予算・条例等をチェック!

質疑

質問した議員

平田 文夫	福田 晃	池田 信博
高宮 陽一	安部 和子	西尾幸太郎
遠藤 義光	小野 昌士	池田 賢治
齋藤 幸廣	安部 大助	佐々木雅秀
前田 芳樹		

新卒業生地元就職 促進事業補助金は?

平田議員 補助金の目的は。 **定住対策課長** 隠岐の島の定住人口を確保するためである。 **議員** 隠岐全諸島がジョパークという世界認定を受けている。それをもって起業家を養成し、いろんな商品開発をしながら、3人でも4人でも若者が集まってやれるような仕組みを考えるべきではないか。島根県信用保証協会には運転資金、設備資金を保証人も担保も不要で融資する有利な支援制度がある。そういう情報を収集しているか。 **この「まち」で、人材が育っていないのは、情報発信力がないからではないか。** **課長** 情報の収集不足であり、大変申し訳ない。

路線バス運行 事業費は?

平田議員 路線バス運行事業は、いつになったら利用者のために改革するのか。 **観光課長** 新しい交通体系になったが、地域公共交通会議で見直し作業を行っている。 **議員** 交通弱者、買い物弱者と騒ぐだけで中身の改革が見えない。 **課長** 地域公共交通会議も、今年は5回開催する。今どこがどう悪いのか検証しないとイケない。 **議員** 使命感をもってやるのがこの「まち」の

豊かさにつながる。 **課長** いろんな意見があり、それも含めて検討する。

医師招へい 予算編成の根拠は?

福田議員 町長の施政方針で、「都万診療所医師招へいに更なる努力を傾注する。」と述べているのに、26年度当初予算は前年度と同額が計上されている。予算編成の根拠を示せ。

保健課長 医師招へい予算の内訳は、交渉旅費と医師候補者が隠岐を視察する旅費を概算で計上している。現状は県や本町のホームページや医師向けの雑誌に求人広告を掲載し情報収集している。 **議員** 過去に医師が不在となった時、議会は特別委員会を設置して県内外に交渉に行く等、多大な経費が必要だった。医師が決定していない今、予算を倍にしても頑張る姿勢を見せるのが当初予算だ。

課長 旅費などの予算が不足した場合は補正予算で対応する。



利用者に優しいバス運行を!

中条デイサービスの運営状況は？

池田(信)議員 博愛はスタッフが揃わないので日曜日は当面開所できないということだが、早急にご利用できるようにすべきだ。

福祉課長 介護職員、看護職員が不足していて日曜日の勤務が組めない。早急に職員を募集して再開したいと聞いている。

議員 高齢者福祉施設の修繕費は、民間も指定管理団体もサービス提供に応じて給付がある。指定管理団体は基金も沢山あり、町がいつまでも支援する制度は問題だ。
課長 指定管理施設と民間が運営する施設は助成



業者選定は慎重に審議を！

の幅が違っていている。各法人の運営状況も調査しながら検討する。

中条小学校の改修問題は？

池田(信)議員 中条小学校改修のコンサルタントの選定方法は、
総務学校教育課長 業者の選定は入札で実施した。

議員 安かろうではダメだ。指摘されて図面を書き直すなど、問題ばかり出ている。消防庁舎も同じ業者で問題ばかり出ている。今後の業者選定はしっかりすべきだ。
課長 業者選定については、慎重審議をして選定する。

行政組織の条例改正は？

高宮議員 危機管理室を設置することだが、役場にはジオパークに関する窓口がない。担当窓口を設置する考えはないか。

総務課長 平成27年度に大幅な組織改革を予定している中で、その中で検討する。

観光協会補助金は？

高宮議員 観光協会で購入する突き牛は50万円で購入しているが、昨年度はどうか。

観光課長 平成25年度は実績で精算しており1頭当たり40万円である。

議員 観光協会で購入する突き牛は40万円の支援、伝統牛突きは20万円の支援では不公平ではないか。観光・伝統継承、いずれも同じ考えで支援するのが公正・平等ではないか。
町長 そのようなことがないようにすべきと思うので検討する。

孫抱き交付金は？

高宮議員 孫抱き交付金制度は、孫抱きにかかるのは5万円、25万円は披露宴開催への支援だ。名称変更する考えはないか。

定任対策課長 9月を目途に事業の評価・検証を行う予定であり、その際検討する。

野外音楽フェス テイバル事業は？

高宮議員 全体計画が5000人で隠岐島民が2000人の参加を見込むような事業は十周年事業とは思えない。十周年記念事業から除外し、別途興行として実施させるべきではないか。

総務課長 新たな企画事業として町の活性化、交



観光・伝統継承の支援は公平公正に！

流人口の拡大につながる事業としていきたい。
議員 事業実施は実行委員会となっているが、赤字が出た場合の対応はどうか。

定任対策課長 主催は隠岐の島町であり、赤字が出ないように運営したい。

議員 赤字が出ないように努力するのは当たり前だ。赤字が出たらどうするかと聞いている。

定任対策課長 出た時には補正予算で対応したい。

議員 赤字が出れば更に町が負担することなど認められることではない。最終的な責任をどう考えているか。

副町長 事業実施には、慎重の上にも慎重にと実行委員会に申し入れた

保育料の徴収状況は？

安部(和)議員 保育料徴収率98・1%だが未納者の状況を把握しているか。

福祉課長 調査していない。

議員 生活困窮者の未納は分割支払い等検討すべきと思うが。

税務課長 納税対策本部で対応している。

生活保護給付

事業は？

安部(和)議員 生活保護受給者の生活レベルは低年金受給者を上回るが対応は。

福祉課長 申請時に十分な審査をしている。

議員 医療扶助費が拡大しているが、酒・たばこ

等、どうとらえているか。課長 毎月1回訪問し、状況把握と注意事項の指摘を実施している。

学校給食調理

事業は？

安部(和)議員 地産地消50%だが野菜を地元で賄えないか。

総務学校教育課長 多量のため、種類によっては難しい。

議員 給食残量状況は。課長 ほとんど無い。

ジオパーク推進

事業は？

安部(和)議員 「世界ジオパークフェスタ」が、くびきメッセで開催されるが誘客体制は。

観光課長 島内外への周知を図り、新ツアーやPR等で誘客に繋げる。

町ホームページの改修は？

改修は？

西尾議員 町ホームページの改修内容の説明を。総務課長 トップページの改修をはじめ、現在無い災害専用ページの対応を考えている。また、誰でも閲覧できるように高齢者にも対応したものになりたい。スマートホンやタブレットへの対応も考えている。

議員 カード決済代行会社などを利用することで簡単に町税の徴収機能を導入できると思うが、検討をしているか。

課長 クリアしなければならぬ問題もあり、今回の対応は考えていない。

議員 ホームページには聴覚障がい者が視覚で情報を取得するという役割もある。現在、聴覚障がい者が施設の手続きをしようと思うと、その施設まで行き担当者や筆談する必要がある。施設の手続きの確認ができる仕組みなど検討はしているか。

課長 具体的な改修内容はこれから詰めていく。

議員 ビッグデータについては不勉強なので、今後研究を行う。

羽田直行便対策

事業は？

西尾議員 資料では羽田便の利用者目標が4万人となっているが、この積算根拠の説明を。

観光課長 現在の出雲便、伊丹便の利用状況、使用を想定しているジェット機の目標搭乗率などから4万人という数値を積算した。

議員 積算された目標数値の根拠が不十分だ。隠岐に興味を持つている人の人数・年齢・性別などを調べるためにも「ビッグデータ」を活用し、今後2年間の間に根拠のある数値を蓄積する必要がありと思うがどうか。



根拠あるデータの蓄積を！

空き家調査と改修事業は？

改修事業は？

遠藤議員 一戸計画されているが、対象物件が決まっているのか。

定住対策課長 まだ選んでいない。

議員 改修の目的と内容は。

課長 利用可能な空き家をイターンの受け入れ住宅として活用し、地域の活性化につなげる。貸出し意向があり改修が必要な物件を改修し、10年間町が借り上げ管理する。

ビッグデータとは
事業に役立つ知見を導出するためのデータと定義され、ホームページなどにアクセスした人の性別や居住地域、年齢や趣向などを多岐にわたるデータを蓄積したものを言う。最近では家電製品などにもビッグデータを蓄積するための仕組みが組み込まれている。



議員 空き家調査が終了し、Uイターン者が使える物件もあると思うが、今後の活用は。課長 6ヶ月かけてアンケート結果を整理し、宅建業者と協力し、空き家バンクの設置を進める。齊藤(幸)議員 国の空家再生等推進事業は平成9年に始まり、10年前に大久地区で町が2棟、地区が1棟手がけたが、その後全く取り組んでいない。すでに離島、中山間地で古民家を活用し、Uイターン者を受け入れていく。遅すぎたのでは。課長 町は民間活力の導入をはかり、Uイターンの若者向けに定住促進住宅を建設してきた。田舎の古民家に住みたいという需要があるので、今年度1棟を改修する。



観光誘客を積極的に！

危険家屋解体 事業は？

遠藤議員 税で危険家屋を除去すると土地はどのような扱いとなるか。また補助するとうなるのか。本来、個人資産は所有者の自己責任で行うべきでは。

建設課長 国の制度で取り組むもので、土地は町に寄付してもらおう。補助物件は公共のために役立ててもらおう。

議員 町の管理物件が増えると費用面で困るのでは。

課長 そのとおりであり危険度の判断をしながら所有者とよく協議をして取り組む。

にぎわい商品券 発行事業は？

遠藤議員 平成22年から24年までの実績とアンケート結果に基づいてどのような改善・改良を考えて実施するか。

定住対策課長 一部の人が他人名義で多く買ったことで、希望者が購入で

きないなど不満の声を聞いている。

今回は商工団体からの要望で、商工会が事業主体となり、商品券の販売は商工会・JA各支店・各店舗等で行い、上限は一世帯10万円までとし、販売ルールの徹底を図る。

議員 商工会に丸投げしないで、町も一緒になって取り組んでほしい。

課長 そのようにする。



空き家対策は緊急の課題！

海上輸送費支援 事業は？

小野議員 運賃一箱20円の輸送費補助は運賃216円の約一割を支援するということか。

農林水産課長 一箱当たりの輸送費試算に基づき関係漁業者等と協議をして決めたもので、一割支援という考え方はない。

議員 現在一本釣り等の一箱あたり経費は4000円で売れた場合、漁連手数料、運賃等で1034円かかる。その他、油代がかかり厳しい経営環境にある。他の戦略産品は輸送費の半額を支援し



第八姫島の活躍が期待される

ており、鮮魚も箱あたり1000円補助にすべきだと思いがその考えはないか。

課長 今年度は松葉ガニブランド化事業、一本釣鮮魚品質向上事業なども新たに計画しており、1000円の支援は考えていない。第八姫島の運営状況、JFの努力等で1000円に近づくよう期待している。

議員 戦略産品開発輸送費支援は、戦略産品促進費で一括計上すべきと思うが。

課長 主旨は理解できるので、今後検討したい。

文化財の保存データ の整備は？

池田(賢)議員 古文書整理保存事業は、新たに発見された古文書なのか。また、臨時職員は専門職を採用するのか。

生涯学習課長 町内で把握している古文書は約2500点あり、適切な応急処理を施し、室温処理管理のできる図書館で整理保管をしていく。臨時職員は、保管作業を体系的に整理し、リスト等を作成・報告する専門性が求められるため、有識者を採用する考えである。

議員 古文書以外の文化財も多くあり、マップを作成し、データとして保存すべきではないか。

教育長 広報等で所有者の方に呼びかけ把握していく。

地域包括ケアシステ ム導入の推進は？

池田(賢)議員 高齢化が進む中、「地域包括ケアシステム」の導入に向けて地域包括支援センターとして保健・医療・福祉の

連携をどう推進するのか。

福祉課長 支援センターが中心となつて、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし、より良いサービスを受けられるよう情報交換を検討する地域ケアサービス会議を設置し、高齢者の介護・予防サービス、医療・見守りなどの生活支援を行っている。

議員 医療・介護・生活支援・住まいといった一体的な支援体制の具体的な計画は。

課長 高齢者福祉計画を平成26年度に見直し、具体的な計画を立てる。



文化財のしっかりとした把握を！



早急な経営改善を！

**ビューポートホテル
償還金は？**

齋藤(幸)議員 当初予算に877万円の償還金が計上されている。金融機関への返済は終わるとはいえ、観光客の減少で経営は苦しいと思うが。

観光課長 平成24年度は順調であったが25年度の経営は厳しかった。しかし町の意向に沿うようにしたいとのことであった。

**社会福祉協議会
補助金は？**

安部(大)議員 「支所の廃止」「介護事業からの撤退」を行い、来年度から8名で事業展開を行っていくことになる。しかし本年度予算では昨年同様の補助金が計上されている。

本来の社協の役割を考えると人員増をし、体制強化を行う必要がある。補助金額について、しっかりと査定したのか。人員増の考えは。

福祉課長 介護事業撤退に地域住民から批判はあったが、社協ともしっかり協議をできている。人員増は考えていない。

**地域包括支援
センター事業費は？**

安部(大)議員 昨年度の実績が0人や1人の事業があった。しかし、同じ事業に昨年同様の予算が計上されている。

対象者のニーズを把握し、事業展開しているのか。事業の検証をしたか。



少子化対策の拡充を！

**不妊治療などの
支援費は？**

福祉課長 今後、関係機関と連携してニーズの把握に努める。

安部(大)議員 少子化対策が大きな課題である本町だが、他の自治体に比べて支援が少くない。支援の拡充をすべきと思うが、支援内容について、しっかりと検証しているのか。

福祉課長 不妊治療の支援はデリケートな部分であり対象者から支援内容についてのご意見は聞いてなく、検証もしていない。

島外出産の支援は検証しながら修正し、実施している。
未熟児養育支援は対象家庭を訪問し、養育上の相談や心配ごとなどの意見を聞いている。

立志式の内容は？

佐々木議員 布施地区の立志式を全町的に実施するようだが。

公民館長 昭和50年から39回実施された布施の立志式を平成27年から全町で実施したいと考えている。

議員 五箇の寒稽古、今津のどんど祭等、布施の立志式だから意義があるのでは。

教育長 親と子が対面する立志式を隠岐の子全員に経験させたい。公民館と協力して学校行事として取り組む。

**敬老記念品贈呈
事業は？**

前田議員 総数187名で1人当たり平均2267円とは、少額で少しお粗末ではないか。

福祉課長 米寿で2000円・白寿で3000円・最高齢者で1万円の記念品代を予算化している。
議員 洩れなく贈呈ができて

きているか。

課長 住民基本台帳で把握をし、敬老会や自宅訪問で贈呈している。

百歳の方には内閣総理大臣より祝い状と銀杯が贈られる。

議員 米寿以上に長生きすることは並大抵のことではない。文字通り敬老と言える水準になるように今後検討してはどうか。

一昨年、満88歳になったが記念品贈呈も何も来なかったという人がいた。贈呈もれがないよう徹底するべきだが。

課長 そのような事態はないと思うが、今後も徹底していく。

**老人クラブ連合会
補助金は？**

前田議員 39団体903名に分配して1人当たり1405円とは、会合1回の昼食をして終わりで何の活動も出来ない。健康な高齢者達が社会活動できるようにもう少し配慮をしてやるべきではないか。



高齢者の活動にもっと支援を！

福祉課長 連合会としては金銭的な面よりも会員確保と組織強化に取組んで行くとしている。
議員 1人当たり1405円とはどのような算定になっているか。
課長 活動費助成金として1団体1万4000円と所属会員1人当たり8000円を予算化している。

論 討 対 反

にぎわい商品券発行事業に反対！

安部 和子

にぎわい商品券発行事業は公平でない。

この事業は当初から問題を抱えていた。

①低所得者・高齢者・障がい者の方たちへの対応が皆無である。

②売り切れ御免の為、住民の皆さん全員にいきわたらない。

③冊子が分厚くなるため500円券が発行できない。

等であるが、平成22年～24年度の間5回実施され、大きな弊害が生じる事態となった。

何か事業を実施すればすべてが公平にいくことは難しい。しかしこの事業は「沢山お金を持った人が、そうでない人より得をする」と町民の目に映っている。

はつきりと不公平感のある事業に経済波及効果があるといえども税金を使つてはいけ

このたび、何の前ぶれもなく突然に新事業として当初予算に計上された。

昨年6月3日の全員協議会で「町としては今後実施しない」「実施するとしても防止策を示した上で実施する」と発言している。今回

明らかな防止策を示さず、しかもその見直しすら定まらない中で商工会に実施させるのである。「ピア」の地下店舗が閉店となり、町部周辺は「困った」と嘆

いている。たとえば移動販売等「買い物弱者」対策にみんなの税金を使うべきである。執行部は住民の皆さんのあり様をよく考えて、勇気をもって「にぎわい商品券発行事業」を中止すべきだ。

条例制定に反対！

高宮 陽一

旧ホテルニューかじにの設置及び管理条例の制定と、一般会計当初予算、辺地に係る総合整備計画の変更に反対する。

町長は、要望書の審査結果について認識違いをしていたことを認めながら、何故強引に

野外ロックフェスに反対！

合併十周年記念事業

の野外音楽フェスティバル事業は、もはや交流人口の拡大が目的となり、当初の説明から大きくかけ離れている。厳しい財政状況の中で町民の皆様の大切な税金を3000万円も投入して実施する必要はない。1000人余りの宿泊施設しかないのに、3000人もの人に来島してもらう等、余りにも計画が杜撰すぎる。同じ3000万円を使うなら、記念事業に盛り込まれている演劇公演や山陰フ

町政を進めようとするのかわび感が増すばかりだ。公正で公平な行政運営をするためにも、町長並びに町執行部は、議会での質疑の経過、要望書の審査結果を真摯に受け止め、素直に議案撤回すべきである。

イルハーモニ管弦楽団公演事業に充当し、無料にするほうが公正・公平な税金の使い方である。野外音楽フェスティバル事業は合併記念事業から除外し、興行として実施させるよう再検討すべきである。赤字が出れば更に税金で負担するなどとてもない話だ。

町を二分するような行政運営は必ずや将来に禍根を残す。暴走する隠岐の島町と言われないよう公正で公平な行政運営を期待する。

合併十周年記念事業に反対！

齋藤 幸廣

合併後10年が経過したが、町の人口は2500人近く減少し、観光客は3万5000人減少した。町の経済も低迷し、中心市街地の商店は閉鎖、撤退に追い込まれている。十周年を祝う気持ちにはなれない。

行事の内容は花火大会、野外音楽フェスティ

バル、演劇などイベント的印象が強く、説明どおり将来の交流人口の拡大につながるのか疑問である。

今するべきことは10年を振り返り、検証することの方が大切だ。そして、町づくりの方向性を打ち出し、熱意を醸しだすべきである。

ホテル改修に反対！

ホテルニューかじたに購入への方針転換については、議会に納得できる理由が示されていない。議会では改修費用が5000万円、1億円と説明し、総務産建委員会では1億円以上になると説明している。具体的費用を示さず、指定管理者を指定し、改修工事に着手するのは、してはならないことと考える

出雲市は7000万

円で取得していた「旧宍道邸」の改修に、予想以上の1億3800万円がかかるので中止を表明した。今日の資材、人件費の高騰を考えると改修費はまだまだ増えると思定され、不安になってくる。隠岐の島町も今、この事業から撤退すべきと考える。

町政を問う!

一般質問

問

…議員質問

町長

…町長答弁



今回は10人の議員が一般質問を行い、活発な議論が展開されました。

紙面上、質問と答弁は要約した内容となっております。

全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載いたします。

問

町長は今定例会の施政方針で、「少しでも多くの対話の機会をもち、町民の皆さんが主役となるまちづくりを職員と二丸となつて取り組む。」と述べている。

「まちづくり」とは、少数意見を論破せず、政策をもって理解を深め、住民の皆さんの気持ちを一つにして取り組むことであり、将来の隠岐の島町に誇りを持てるようなまちづくりが求められていると思うが、町長の考えは。

町長

「まちづくり」は、町民の皆さん、事業所の皆さん、そして行政が、それぞれの立場で必要な知識を身につけ、出来る限り多角的にまちづくりにかかわることにあると考えている。行政としてこの取組みを推進したい。

町長は今定例会の施政方針で、「少しでも多くの対話の機会をもち、町民の皆さんが主役となるまちづくりを職員と二丸となつて取り組む。」と述べている。



平田 文夫 議員

問

独自のまちづくりで一定の成功をおさめている地域に共通しているのは、現状への危機感を敏感に感じ取り、地域への愛着から行動を起こす「キーマン」の存在であり、ほとんどのケースで「キーマン」となっているのは町の職員である。

結局、まちづくりの良し悪しは「人の感度」の良し悪しに左右され、職員に求められているのは、そういった「感度」を日々の生活や仕事の中で磨くことだと思いが、町長の考えは。

町長

議員仰せのとおり、まちづくりのキーマンは職員だと思っており、職務別研修や職員の能力発揮のための研修を受講できる環境づくりを行い、「感度」に磨きをかけたいと考えている。

独自のまちづくりで一定の成功をおさめている地域に共通しているのは、現状への危機感を敏感に感じ取り、地域への愛着から行動を起こす「キーマン」の存在であり、ほとんどのケースで「キーマン」となっているのは町の職員である。

Q 「まちづくり」の姿勢は！
A しっかりと取り組む。

「まちづくり」のキーマンは？

子育て支援は？

問

国や県は、質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供、地域の子ども・子育て支援を定め、市町村でも独自に色々な支援を行っている。議会が以前から提案している「義務教育終了までの医療費の無料化」をどのように考えているか。

いま議論をしているが、必要があれば整備を進め、26年中に前倒しをして取り組む。

町長

いま議論をしているが、必要があれば整備を進め、26年中に前倒しをして取り組む。



まちづくりのキーマンは職員



高宮 陽一 議員

問

子育て支援は次の世代を担う未来への投資である。地域経済が低迷している隠岐の島町においては経済的支援が最も効果的であり、過去のアンケート調査の結果でも子育てや教育にお金がかかり過ぎるとの回答が60%以上を占め経済的支援を求める声は多い。

経済的支援として保育料・学校給食費の無料化など考えられるが、小学校・中学校入学時の入学支度金制度を提案する。

入学時には、机・ランドセル・制服・体操着や通学のための自転車購入等、保護者にとっても大きな負担であり、町独自の支援策を制度化すべきと考えるがどうか。また、乳幼児等医療費助成についても義務教育終了ま

Q 入学支度金制度の導入を！
A 新年度中に協議する

で拡大するよう年度途中からでも取り組む考えはないか。

町長

学校入学時の支援は、低所得世帯や母子世帯等には就学援助費を支給し学用品購入・医療費・給食費・修学旅行費などの負担軽減に努めている。

今後この制度の中で支援するのが有効と考え



入学時支援の義務教育終了まで拡大を！

**突き牛購入の
全額支援を！**

問

伝統の牛突きをいつまでも愛好者や関係者の犠牲によって守り続けることは限界である。

教育委員会では伝統の牛突き習俗を保護するため新年度から従来の上限20万円を撤廃して購入費の2/3を支援するとしたことは評価する。

しかし、牛突きが隠岐の観光に欠かせないアイテムであると言うならば、残り1/3を観光関係の予算で負担し全て行政負担とすべきと思うが。

町長

牛突き支援は文化財保存と観光振興の両面から行っており、全額負担は考えていない。



米澤 寿重 議員

問

本町の地形は海辺に広がる低平地が多く、住宅も集中している。東日本大震災の教訓を反映した津波防災対策の徹底を図らなければならない。

町長

現行の地域防災計画を見直し、津波対策編を新規に盛り込み、津波対策の充実・強化に努めるべきでないか。

問

本年1月、国の中央防災会議で防災計画が修正され、その一つに災害弱者の避難・誘導の強化を狙いとした市町村の高齢者などの名簿作成が義務付けられた。この名簿を区・自治会・町内会などが共有し、有効に活用すべきでないか。

町長

要援護者台帳の用途を含め、地域と連携を図りながら取り組む。

町長

被災者を最小限に食い止めるためには「自分たちの町は自分たちで守る」という自主的な組織の結成が課題となる。地域自主防災組織の育成に力を注ぐべきでないか。

問

本町を取り巻くリスクが高まる状況を踏まえ、危機管理室設置が提案されているが、安心安全の町づくりに貢献するものと期待される。想定される災害の範囲や危機管理室の職務などを明確にした危機管理基本方針を策定すべきでないか。

町長

新年度は新たな事業を試み、有事の際には地域で共助できる体制の構築に努める。

Q 地域防災計画の中に津波対策編を！
A 津波災害対策計画を盛り込む

地域防災計画の見直し、充実を図っていく。



万が一への備えも必要！



安部 大助 議員

問

西郷港を中心とした市街地は、郊外化や高齢化、インフラ整備の遅れなどにより、空き家が増加、商店の閉鎖が続き、今では中心市街地とは言えない街になっている。今後どのように対応していく考えか。

町長

今後は宿泊、飲食、みやげ屋等を中心に活性化を図る。

問

高齢化が進み運営が厳しい状態の宿泊施設、商店がある中で、どう活性化させるのか。

中心市街地の活性化は、商工だけでなく地域観光、インフラ整備、バリアフリー化などにも関係してくる。しっかりとした再建計画の策定が必要と考えるが。

町長

もう一度、地域住民、自治会、商工会、関係機関も入り、策

Q 中心市街地の再建と「再建計画」の策定を！
A 再建計画は策定委員会を構築し新たな方向で展開すべきと考える。

若者の実態調査の実施を！

定委員会を構築しながら検討をしていく必要がある。西郷町時代に策定した西郷町中心市街地活性化基本計画を基に新たな方向で展開させていくべきと考える。

問

町の活力を求めるとなると若者の定住対策は大変重要となる。若者の定住が図られることで街の活性化が期

町長

定住対策については雇用場の確保が一番すべきことと考えている。また、色々な場で若者と意見交換を行っているため、実態調査については、現在のところ実施する考えはない。

待てる。

若者の現状をしっかりと捉え、今後の町の施策として活かしていくためにも若者の実態調査が必要と思うが。



急がれる中心市街地の再建！

Q 高潮対策の実施を！
A 高潮対策のための調査・点検を行う。



齋藤 昭一 議員

問

新聞では佐渡沖マグニチュード7.8の地震が発生した場合に、隠岐の島町での津波の最高値は代地域が9.5mと想定されている。温暖化現象により、満潮時に台風などが重なるると波が防波堤を越え、大きな被害が出る。海抜ゼロメートルの港町地区は、容易に海水に覆われ家が浸水すると生活ができなくなる。

町長

これらの対策のため①海面の上下を測る定点観測施設を設けること②防波堤を高くすることが必要と思うがどうか。



高潮被害対策を！

隠岐病院はどうかあるべきか？

問

隠岐病院は、清潔で機能が効率的になったと好評であり、投書にも丁寧な答えているが、苦情・中傷があることも事実だ。これが重荷となり、医師・看護師が意欲を失い、医療体制が危うくなるのではと危惧される。中核医療機関として町民に信頼されるよう努めるべきと考えるが、町長は、隠岐病院はどうあるべきと考えるか。

町長

隠岐病院の役割は第一に他の医療機関と連携し、町民の健康と安全・安心を確保すること、第二に二次医療機関として治療を完結させること、第三に高度医療は、早急に本土の病院へ搬送することが求められる。町民に信頼され愛される病院づくりを目指し「患者満足度調査」「医々とも座談会の開催」「まめなかの発行」などを通して町民からの意見を取り入れている。



前田 芳樹 議員

問

笠松牧野開設時に地区要望として上水道改修を申し入れが、いまだに何もしていない。牧野開設には黙って協力をさせて、頼まれたことは放置しているとなれば不合理極まりない。切実に要望している。しかも、人が日常生活をする上での最低条件である上水道の整備は行政に責任が有る。また、要望してから4年が経ち、たまたま地区民は陳情書を昨年提出している。これに対してこれから5年先の計画だと返答しているが、もはや計画とは言えない単なる先送りではないか。この程度の改修に10年もかかっているのは行政の責任を果たしているとは言えないのではないか。「何とかして欲しい」と聞く。今後地域住民の要

Q 向ヶ丘地区の上水道改修計画は？
A 平成29年から二カ年で改修する計画だ。

望を聞いてやるべきではないか。

町長

全ての水道事業は、規模の大小に関係無く町が責任をもって運営している。向ヶ丘地区の上水道は、平成29年、平成30年度の二ヶ年での改修を計画し、区にも回答している。もし、そういう実態が有るならば当然早く何とかしなくてはならない。

要望や陳情への対応は？

問

住民及び自治会からの要望書や陳情書は、行政が住民レベルの社会的なニーズを直接的に捉えることのできる大切な機会であって丁寧な対応が求められる。追跡もせずにはならない。提出者に対して文書で回答をしてその後の段階へ進むべきではないか。正式に回答もせず未解



安心安全な飲料水の提供を！

決で放置状態ではないか。

町長

提出者に対する返答・説明・協議・調査がおろそかにならないよう職員への周知徹底を図っている。



池田 賢治 議員

問

ここ数年の建設業界は、民間需要の縮小、建設資材の高騰、また金融機関の引き締め、更には予算の大幅削減による公共事業の減少により、建設各社の受注高が大幅に減少し、業績が増々悪化する状況である。これらの要因により、賃金の低下など技能労働者の就労環境が悪化し、建設業で働く人手が全体的に減少して、公共工事に影響が出ている問題がある。

Q 公共工事設計労務単価の引き上げによる経済対策と雇用の確保を！
A 迅速に対応し、適切な工事の積算を実施する。

継者不足、更には下請け業者の保護等、人的な課題が挙げられている。

公共工事の予定価格である落札上限価格と、業者が採算確保に必要な実勢価格との差額を縮小するため、「公共工事設計労務単価」を引き上げ、予定価格を見直すことにより、官・民一体となった「活力あるまちづくり」に向け、本町の経済対策を図るべきと考えるがどうか。

町長

公共工事の労務単価は、県の単価を使用し積算している。本年2月、国では昨年度に対し全職種平均で約23%、県でも約19%の単価引き上げをしている。今後も国・県の単価改正に合わせて迅速に対応し、経済の好循環に支障をきたさぬよう、適切な積算を実施していく。

問

積算単価を見直しすることにより、入札不調の解消にもつながるものと考ええる。

町長

離島の厳しい実態を理解する中で設計がされれば、入札が不調になることはないわけで、今後内容を吟味させ、設計にあたらせたい。



新消防庁舎の建設予定地



齋藤 幸廣 議員

問

合併十周年を迎え、10年間の振り返り、検証・評価が必要である。

人口は25000人余り減り、本年2月1日現在で1万5186人となっている。この間、町は人口減少の歯止め策を効果的にタイミングよくとって来なかったと考えるが、町長の考えは。

また、観光客も担当課の推計で15万3000人から12万7000人と17%の激減だった。

観光協会、町は効果的対策をとれなかったと考えるが、町長はどう考えているのか。

町長

特効薬のような効果的な対策はない。全庁あげて、日々複合的な対策を実施してきたが効を奏したとはいえない。平成17年と22年の

Q 人口減少の効果的抑制策をとってきたか？
A 全庁上げて複合的対策を実施してきた。

国勢調査比較では、イターン策を積極的に展開している海士町が8%の減少で、本町は82%の減少となっており、人口減少は抑制されている。今後

も教育・定住・福祉を中心に総合的に取り組む。隠岐観光協会によると

推定交流人口は昨年12月までは対前年比で、概ね横ばいが続いている。観光協会を中心に積極的に取り組んでいるが、その効果が覚えてこない状況である。

問

人口規模が全く違う島前の町村と単純に比較するのは間違い



人口増で町に賑わいを！

ている。平成17年と22年

国勢調査比較もおかしい。10年間の変化で議論

すべきではないか。観光協会の推定交流人口は信頼できない。新聞報道でも昨年度8.1%減と出ている。横ばいなどではない。

町長はどう考えているか。

町長

海士町は交流人口拡大に活路を求めたし、わが町はあらゆる対策を講じてきた。職員も懸命に頑張ったが、歯止めにはならなかった。が、すべて失敗だったのではない。

問

昨年9月、町長より「ふるさと納税」の支払い方法及び、寄付者に対する特典の検討をするとの答弁があった。

全国の自治体がふるさと納税の見直しや改善に着手し、大きな効果上げている中、本町も先進自治体に情報収集を行い、時間をかけずに見直しや検討を行う必要がある。検討の進捗はどうか。

町長

昨年、総務省が実施した「ふるさと納税に関する調査」では、

納税方法の多様化を図ることが効果的であるとの調査結果が出ており、課長会においても早く対応するよう指示している。

特典については、一部生産者への聞き取り調査を行っており、本年の早い段階で決断をしたい。



西尾幸太郎 議員

Q ふるさと納税見直しの進捗は？
A 課長会で指示している。検討も含め早急に対応する。

問

クレジット決済などは、新年度のホームページ改修と足並みをそろえて対応することを期待するが、昨年9月に質問してから現在までの間に聞き取り調査を行っただけと言うのは非常に残念に思う。「ふるさと納税」の重要性に関してだけ認識しているのか疑問を持たざるを得ない。

町民が他の自治体に対してふるさと納税を行った件数や金額を把握しているか。

町長

町民の他町村への納税状況は把握していない。

問

町民が他町村へふるさと納税を行うことを否定するものではないが、このままふるさと納税の見直し等を行わず、ふるさと納税によって他町村へ流出する税額が本町への寄付金額を逆

転してしまつては、寄付者の方の思いを無にしかねない。

例えば、若手の生産者や事業者の商品を特典に採用すれば、若手事業者の営業支援になると同時に若者支援を頑張っている本町へ「ふるさと納税で応援しよう」という寄付者も出てくるのではないか。

町長

現在までに総額で2069万円を超える寄付をいただいております。本町において大きな財源となっている。

また特産品の送付は地元商品の消費拡大にもつながるので、検討も含め早急に対応する。



隠岐の特産品を武器に！



池田 信博 議員

問

ピアの食料品等を販売する店舗が3月末をもって撤退するが、地域住民、特に高齢者への影響は大きい。

影響を受ける住民に対する支援策はどのように考えているか。また、公設ショッピングモールを設置して起業者の育成、雇用の場の創出も可能となる支援策構築の考えはないか。最後に周辺地域の人達に対する支援策をどのように構築するのか伺う。

町長

地域での食料品店確保に向け、商工会とともに努力し、町として何らかの支援策を検討する。ショッピングモールの整備はしないが、起業者への支援策等は検討する。買い物弱者対策は、交通弱者対策であり、独居老人対策でもある。

Q 買い物弱者に対する支援策の構築を急げ！
A 総合的な課題解決策の検討をする。

総合的なアプローチが必要との判断から、課題解決策の検討をする。

役場庁舎は移転新築を！

問

庁舎の整備は、今年度中に「耐震補強」か「新築」か方針を決定するとしている。本庁舎は河川敷に位置し、狭隘で使い勝手も悪く地球規模での気象条件の変化、想定外の災害発生

の現状を見ると庁舎整備は新事業とし、災害拠点としての機能を有するだけではなく、町のシンボルとなるような庁舎整備を

すべきと考えるが町長の考えは。

町長

耐震改修には、仮庁舎の建設等、多額の費用が必要なことや、すじかいや柱が増やし事務室の狭隘化・耐用年数、地震対策が施されていないこと等を考慮し、新年度中に決定する。

問

検討委員会に新築整備の考えを示して結論を出すべきと考えるかどうか。

町長

耐用年数等考えるところ、誰が判断してもお分かりではと思っ



役場庁舎をどうするか？

竹島対策特別委員会のとりくみ

委員長 米澤 寿重

関係団体との連携

竹島東京集会については「竹島・北方領土返還要求島根県民会議」に要望書を提出した。更に、

県民会議会長と共に県選出の4人の国会議員に要望書を提出し、東京集会開催を強く求めたところ、実現に向け働き掛けていくことを確認した。

竹島資料館の設置

国の所管である立場を崩さず、引き続き啓発施設の本町への設置を国に強く求めていくことを確認した。

啓発・広報活動

4月13日に開催された「いぐり凧揚げ大会」に参加し、「竹島凧」を揚げ、更なる啓発に努め



竹島早期解決の願いを込めて！

た。また、「竹島バッジ」の製作を執行部に要望した。

執行部からは4基の竹島啓発看板を設置したとの報告を受けた。

竹島の日記念式典

2月22日の「竹島の日記念式典」には本議会から8人の議員を含め、本町から16人が参加した。式典では知事から外交交渉の強化、本町への啓発施設の設置、学校教育での竹島問題教育の強化など7項目の要望書が内閣政務官に提出された。

シンポジウムでは竹島問題研究会が発刊した「竹島問題100問100答」の意義をテーマに4人の対談が進められた。この本は日本側の主張や見解をわかり易く解説しており、竹島問題の正しい認識が広まるものと期待される。来年は竹島の日制定十周年を迎えるが、当委員会は本町での開催実現に向けて取り組んでいくこととした。

2つの事業に議論が集中

委員長 佐々木雅秀

審査の状況・結果

課題解決されないままの にぎわい商品券事業

平成22年から24年の3

年間で実施したものである。しかし、券の購入時や使用時に不公平が生じ、また悪用したりする弊害があったため、昨年6月に執行部から「再開する場合は課題解決が前提である。」と説明を受けた。そして9月定例会では、「町としては今後実施しない」と委員会に報告があった。しかし、商工会からの要望があり、全面的に商工会が実施するものとして、今回も町が予算化した。

【委員の質疑】

●実施しないと報告した半年後に突然提案するとは約束違反だ。

●弊害の防止策を講じなければ認められないと指摘したにも拘らず、会期に入っても明確な防止策がない。

●防止策を徹底するのなら、責任をもって町が全面的に実施すべきだ。

【執行部の答弁】

商工会が実施する方針が不明だったことから予算化が遅れた。第三者が購入する時には証明書を使う。

委員から反対の意見もあったが賛成多数で可決すべしとした。

実施までには具体的な防止策を徹底すべく町としての明確かつ厳格な方針を示すよう指摘した。



総務産業建設常任委員会に付託された一般会計及び各特別会計補正予算などの議案は審査の結果、全て「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

合併十周年にふさわしい 野外音楽フェスタに！

野外音楽フェスティバルは、総事業費8300万円、9月27日・28日の2日間、都万地区あいランドパーク周辺で開催予定である。

島外3000人、島内2000人動員の大規模な『野外音楽フェスタ』の計画であり、島内者の入場料を6000円徴収する予定。

【委員の質疑】

●入場者が一部の世代にならないか。

●3000人の宿泊の確保は。

●赤字になった場合、どう責任をとるのか。

●本来単独の興行ですべきだ。

●経済効果はどうか。

●町民にとって記念すべき十周年でありチケット料金を無料にしてはどうか。

【執行部の答弁】

全ての世代がそれぞれ望む8組のアーティストを呼ぶ計画であり、音楽以外にも体験や遊びなどの内容を織り込んでいく。チャーター便、キャンプサイトの設営などによって集客していく予定だ。

委員からは反対の意見もあったが、賛成多数で可決すべしとした。

今後、実施に向けては十周年にふさわしいと、住民に理解されるようチケットの減免化に取り組みべきと指摘した。

早急に空き家・ 危険家屋条例の制定を

空き家と危険家屋の条例制定に関しては、執行部から国が法制化したのち、それに準じて実施要綱を作成し、補助事業を導入して行くとのことである。

委員会としては、早急に基準づくりをするよう求め、活用方法についても、空き家の登録・改修・登記などを協議する「空き家バンク」の導入を視野に入れて調査するよう指摘した。

地域おこし協力隊と 地域担当職員の連携強化を

地域おこし協力隊活動は地域の人たちと協力し特産品開発、販売、イベント企画などを通して地域の活性化に取組む役割をもっている。

一方、地域担当職員制度は過疎高齢化地域の見守り制度であり、職員が地域に出かけることで、

現状を把握し、自らが企画して町政に活かす仕組みである。

この2つの制度の連携は地域の活性化にとって重要であり、安心・安全な地域づくりに役立つことから、委員会としては地域おこし協力隊の活動の継続と、組織改編に向けて活用するよう指摘した。

所管事項

企画財政課は各課の調整だけでなく、情報収集して国・県の諸施策に伴う補助事業を導入し、企画本来の事務に力を傾注するよう求めた。



連携強化で更なる地域おこしを！

医師招へいで あんきな暮らしを

委員長 小野 昌士

審査の状況・結果

地域福祉の要としての の自覚と行動力を

町社協は新たな事業として、後見人支援体制等整備に向けた調査研究、民生児童委員協議会の事務局等を行うこととなった。

委員から地域住民に社協の顔が今ひとつ見えていないのでは、もっと地域福祉の環境づくりに努力すべきでは、民間の福祉法人も育ってきており従来ほど社協の必要性を住民が感じていないのでは等の意見があり、地域福祉の要としての自覚、行動力を磨き、町との連携を強め、顔の見える町社協となるよう指導の強化を指摘した。

隠岐温泉GOKAは 継続が休止か

隠岐温泉GOKAは毎年1500万円の一般財源を必要としている。

行革本部では揚げ湯が枯渇するまでは改善を図りながら運営することになつてはいるが、財源・住民サービス・温泉の価値等総合的に考え、継続か休止か早急に結論を出すよう指摘した。

乳幼児等医療費助成制度 拡大を前倒しで実施

当委員会では再三にわたり中学卒業まで拡大するよう要望し、町長も準備ができれば前倒しで今年度中に実施しても良いと答弁しており、すぐに準備して実施に移すべきと指摘した。

教育民生常任委員会に付託された一般会計及び各特別会計補正予算などの議案は審査の結果、全て「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

隠岐ジオパークの 部署設置を早急に

一般社団法人ジオパークツアーデスクは隠岐ジオパーク戦略会議の活動を持続可能な活動とするため新たに法人組織を設立したもので、26年度から「起業支援型雇用創造事業」を活用し、ツアーデスク組織体制の構築・誘客に向けた取り組み・旅行代理店及び島外への情報発信とガイドをふくむ受け入れ体制整備を行う

こととしている。

委員からは、ジオパークを隠岐の活性化に役立てるためには町としての基本戦略を早急に立て、ジオ担当部署を設置して一体的に推進すべきだ。

また、現状は推進協議会・観光協会・教育委員会・隠岐ジオパークツアーデスク等、対応がまちまちで、このままだと再認定に支障が危惧される等の意見があり、早急に担当部署を設置するよう指摘した。

立志式を全町で

立志式は、昭和50年より布施地区で中学二年生を対象に、2月4日の立春の日を選んで厳粛に行ってきた行事である。この素晴らしい伝統行事を活かし「凛々しい隠岐人」を育てるためにも全町で開催する公民館事業である。

委員から布施地区だからできる行事で他の地区で同等の厳粛で感動する式典ができるのか等の意見があり、学校・保護者・地域等の意見も十分聴きながら実行に移すよう要望した。

国民健康保険事業 の運営は大丈夫か

国保の基金残高は平成26年度末に470万円となる。医療費の動向次第では、今後の運営が心配されるがどのように対応するのか等の意見に、広域化の動きがあり（県単位運営）、近く説明会が島根県で開催予定であり、今後、検討すること

である。
安心・安全の暮らしを確保するため安定した国保運営ができるよう要望した。

所管事項

かかりつけ医師のいないことは高齢者にとつては大きな不安となるため、都万診療所医師招へいについては総力を挙げ、より一層努力するよう要望した。



隠岐ジオパーク推進協議会事務所



医師招へいで安心・安全を!

採決の状況

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 除…除席

賛成多数で可決された議案

件名	西尾	池田賢	安部大	佐々木	前田	平田	齋藤幸	小野	齋藤昭	高宮	米澤	遠藤	池田信	福田	安部和
辺地に係る総合整備計画の一部変更について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○
平成26年度一般会計予算	○	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×

※平成26年度一般会計予算の反対理由

- ・にぎわい商品券発行事業に反対・・・安部(大) 平田 高宮 池田(信) 安部(和)
- ・野外音楽フェスティバル事業に反対・・・安部(大) 平田 齋藤(幸) 高宮 池田(信)
- ・観光宿泊施設運営事業に反対・・・平田 齋藤(幸) 高宮

全会一致で可決された議案

平成25年度一般会計補正予算	国民健康保険事業勘定特別会計補正予算
国民健康保険施設勘定（都万診療所）特別会計補正予算	簡易水道事業特別会計補正予算
下水道事業特別会計補正予算	後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算
消防団設置条例の制定	行政組織条例の一部改正
職員の定年等に関する条例の一部改正	消防団員等公務災害補償条例の一部改正
非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	税条例の一部改正
武道館設置及び管理条例の一部改正	福祉医療費助成条例の一部改正
放課後児童クラブ条例の一部改正	ダイビング施設設置及び管理条例の一部改正
集落排水処理施設設置及び管理条例の一部改正	若者定住促進住宅設置及び管理条例の一部改正
公営住宅管理条例の一部改正	隠岐島石油類備蓄施設設置及び管理条例の一部改正
農村環境改善センター設置及び管理条例の一部改正	地域産物販売提供施設設置及び管理条例の一部改正
農業近代化施設設置及び管理条例の一部改正	農産物加工品流通拠点・交流滞在施設設置及び管理条例の一部改正
隠岐有機センター設置及び管理条例の一部改正	牧野設置及び管理条例の一部改正
林業総合センター設置及び管理条例の一部改正	希少林産物増殖施設設置及び管理条例の一部改正
環境緑化木生産施設設置及び管理条例の一部改正	漁港設置及び管理条例の一部改正
布施地区漁業振興施設設置及び管理条例の一部改正	漁船保全修理施設設置及び管理条例の一部改正
企業立地支援センター設置及び管理条例の一部改正	ものづくり学校設置及び管理条例の一部改正
都万漁港海岸環境施設設置及び管理条例の一部改正	健康管理増進施設設置及び管理条例の一部改正
国分寺牛突場設置及び管理条例の一部改正	交流宿泊施設設置及び管理条例の一部改正
滞在型宿泊施設設置及び管理条例の一部改正	過疎地域滞在型宿泊施設設置及び管理条例一部改正
宿泊研修施設設置及び管理条例の一部改正	観光遊覧船施設設置及び管理条例の一部改正
蓮華会舞演舞場設置及び管理条例の一部改正	牛突きセンター設置及び管理条例の一部改正
ポートブラザ設置及び管理条例の一部改正	国民保養センター設置及び管理条例の一部改正
簡易宿泊施設設置及び管理条例の一部改正	コミュニティ・アイランド施設設置及び管理条例の一部改正
浄土ヶ浦休憩所設置及び管理条例の一部改正	都市公園設置及び管理条例の一部改正
道路占用料徴収条例の一部改正	準用河川管理条例の一部改正
普通河川道路等管理条例の一部改正	港湾施設設置及び管理条例の一部改正
過疎地域自立促進基金条例を廃止する条例	ユース・ホステル設置及び管理条例を廃止する条例
公営駐車場整備基金条例	鮮魚運搬船設置及び管理条例の制定
町長及び副町長の給与等に関する条例の一部改正	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
過疎地域自立促進計画の一部変更について	工事請負変更契約の締結について [中条小学校校舎大規模改造(建築主体)工事]
指定管理者の指定について [第八姫島]	上水道事業会計予算
国民健康保険事業勘定特別会計予算	国民健康保険施設勘定（中村診療所）特別会計予算
国民健康保険施設勘定（五箇診療所）特別会計予算	国民健康保険施設勘定（都万診療所）特別会計予算
簡易水道事業特別会計予算	下水道事業特別会計予算
駐車場事業特別会計予算	訪問看護事業特別会計予算
布施へき地診療施設事業特別会計予算	五箇へき地診療施設事業特別会計予算
中財産区特別会計予算	後期高齢者医療保険事業特別会計予算
隠岐産清酒による乾杯を推進する条例の制定	

「隠岐産清酒による乾杯を推進する条例」を制定しました!

隠岐産清酒の普及促進に関する条例の制定の要望があり、今議会にて議員提案により「隠岐産清酒による乾杯を推進する条例」を制定しました。

隠岐産の清酒での乾杯を推進することで、隠岐産清酒の普及と島内の酒造り文化を守ることがこの条例の趣旨ですので、是非皆さんも隠岐産清酒で乾杯しましょう!

- ※お酒は20歳になってから
- ※飲酒運転はゼッタイにやめましょう
- ※お酒の飲み過ぎには気をつけましょう



第1回臨時会

平成26年2月14日に第1回臨時会が開催され工事請負変更契約2件の議案を全会一致で可決した。

■工事請負変更契約〔町道中町中条線道路改良工事(1工区)〕

- ・185万円を増額
- ・変更理由 護岸を施工するため、仮設の道路工事等を追加する。



中町中条線の早期完成を!

■工事請負変更契約〔公共下水道管路布設(5号幹線その1)工事〕

- ・156万円を増額
- ・変更理由 管路掘削に伴い発生した既設アスファルト処分費等を実績により増額する。

第2回臨時会

平成26年4月8日に第2回臨時会が開催され業務委託契約、指定管理者の指定など3件の議案が提案され、「旧ホテルニュー1かじたに」の指定管理は賛成多数、他の2議案は全会一致で可決した。

■業務委託契約(隠岐の島町基幹システム更新業務)

■契約相手

松江市朝日町

ディーアイエスソリューション(株)

【契約金額】

3億1203万円

【業務内容】

本町の電算基幹システム

の保守年限が経過しており更新するもの。

■指定管理者の指定(特定賃貸住宅・若者定住促進住宅)

島根県住宅供給公社

本町が設置している特定賃貸住宅30戸、若者定住促進住宅18戸を管理するため、島根県住宅供給公社を指定管理者と指定するもの

■指定管理者の指定(隠岐の島町観光宿泊施設)

【指定管理者】
株共立メンテナンス

本町が購入した旧ホテルニュー1かじたにの管理運営を行わせるため指定するもの。

※この議案には次の4名の議員が反対した。

- 西尾議員
- 平田議員
- 斎藤幸議員
- 高宮議員

議員研修に行ってきました

隠岐の島町議会では、住民に開かれた議会改革を進めるために、3月14日大阪市で開催された研修会に参加した。

研修会では三重県議会の三谷元議長が講師となり「議会改革20年の軌跡」と題して講演された。三重県議会では議会の役割を「政策監視・提言から政策立案へ」と転換を行い、テレビ中継や議会新聞の発行を頻繁に行っているとのこと。また、立案のための事務を強化するため事務局体制の補強も行い、今では全国の県議会の中で政策立案が一番多く、住民参加型の議会となっている。本町でも、議会改革を進めるため、議会基本条例の制定を目指し、検討することとしている。

【参加議員】

- 西尾 幸太郎
- 安部 大助
- 平田 文夫
- 高宮 陽一

隠岐広域連合議会報告

報告者 安部 和子

■第4回臨時会

平成25年12月24日に第4回臨時会が開催され、消防事業特別会計補正予算を全会一致で可決した。

主な内容は、消防庁舎建設の杭工事費等の増額と工事監理業務委託費の減額等であり、2333万円余りの増額補正である。

■第1回定例会

平成26年2月7日に第1回定例会が開催され平成26年度当初予算や平成25年度補正予算、条例改正、指定管理者の指定など19件の議案が提案さ

れ、全て全会一致で可決した。

▼新年度の一般会計及び特別会計の全予算総額は93億円余りで、前年比21億3500万円余りの減額予算となっている。減額の要因は、仁万の里の工事完了やレインボージェット就航による減額が主なものである。

平成26年度当初予算

区 分	予 算 額
一般会計	4億3751万円
介護保険事業特別会計	33億7416万円
島前病院事業特別会計	8億5832万円
隠岐病院事業特別会計	30億5846万円
消防事業特別会計	16億3811万円
合 計	93億6656万円

皆さんからの陳情や要望

番 号	件 名	提 出 者	付託委員会	審査結果	理 由
要望書	これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書	日本青年団協議会 会長：立道 斉	教育民生 常任委員会	採択	公民館活動を中心に行われているが、更なる充実 に資することから全会一 致で採択した。
要望書	津戸漁協船揚場の用地 舗装について	津戸区長：山根 豊伸 津戸地先委員長 ：浜田 利長	総務産業建設 常任委員会	継続 審査	引き続き調査を要する必 要があるため
要望書	隠岐産清酒の普及促進 に関する条例の制定に ついて	隠岐酒造協議会 代 表：高宮 健二 隠岐の島町ホテル・旅館組合 組合長：大江 賢二 隠岐の島町観光協会 会 長：横地 龍男 隠岐小売酒販組合 理事長：藤村 一男	総務産業建設 常任委員会	採択	全国的に清酒の消費が減 少するなか、隠岐伝統の 酒造り文化を守り、隠岐 産清酒の普及に資するこ とから、全会一致で採択 した。



編集後記

ロウバイ、レンギョウと始まった春の花は、今桜の満開で最終楽章を迎えています。

春の嵐はこれらの花を散らせてしまいましたが、3月議会でも嵐が吹きましました。当初予算に6名の議員が反対したのです。

質疑の中で議論を踏まえ、今後の町政運営に活かされることを期待しています。

堅い話は一休みして、野に出てみましょう。

春なのですから。

委員長 齋藤幸廣

【投書先】 議会事務局

F A X (2) 3 3 9 6